

このゆびと～まれ



発達検査について

兵庫県立西はりま特別支援学校
西はりプロジェクト

新年度がスタートし、あっという間に2か月が過ぎました。世間では、新型コロナウイルスのワクチン接種がはじまりましたが、多くの人に行き渡るまでにはまだ時間がかかりそうです。心配はつきませんが、新しい生活様式のもと、子供たちは毎日元気に登校し、学習に励んでいます。そんな姿を見ていると「私たちも子供たちと共にがんばらなければ!」と思います。

『このゆびと～まれ』今年度の第1号は、発達検査（太田ステージ）について取り上げてみたいと思います。

どうして発達検査をするの？



目的は、**客観的なもの**さして子供の発達を知るためです。私たち教師は、日々、子供たちと関わる中で、子供の力を把握し指導に活かしていますが、**主観的なもの**になります。日々の関わりの中で子供の力を把握することはとても大切ですが、発達検査の結果が示す子供の力から**指導の在り方を点検**することも大切です。

保護者からの聞き取り

家庭や地域での様子はどうかな？

心理検査

知能検査や発達検査など

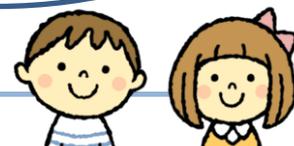
日頃の行動観察

制作が得意なので、手先は器用かもしれない

本読みは苦手そうだな

休み時間はよく外に出て遊んでいるな

子供を多面的に理解する



発達検査には様々なものがありますが、今回は『太田ステージ評価』について取り上げてみました。



読みやすく
オススメの
1冊です！



太田ステージって？

太田ステージ評価（LDT-R：言語解読検査）と言われる検査で、シンボル機能*がどの段階にあるかを評価します。

*シンボル機能とは、目の前に存在しない物を思い浮かべたり、相手の気持ちを理解したりするような働きのこと。

【特徴】

- ・ シンボル機能によって6つのステージに分けて評価する
- ・ 言語表出が難しい子供にも実施できる（指さしでの反応がほとんど）
- ・ 簡単に短時間で評価できる（10分程度）←注目度★★★
- ・ ステージ毎に実践マニュアルがある（関わり方や教材が評価とセットになっている）←注目度★★★

先日、太田ステージと NC プログラムの校内研修会が開かれました。

講師は、支援部のホープ2人でした。検査の概要、実施方法など、とても分かりやすくお話してくださり、参加者に大変好評でした！！

なお、上述記事の参考資料として研修会の資料を活用させていただきました。



次号は NC プログラムについてです